



★★★感染症にかからない！広げない！★★★

2 月度でも話題にしましたが、あれから 2 カ月。新型コロナウイルスは猛威を振り続けています。新聞やニュースでも連日大きく報道され、ことの重大さを思い知らされていることと思います。

「自分は大丈夫」は、今や通用しません。一定条件下では誰もが罹患する可能性があるようです。現在のところ弊社の従業員の皆さんが罹患したとの情報はありますが、「37.5℃以上の発熱がある」「風邪症状がある」と報告があり、自宅にて待機していただいた方がいることも事実です。幸いにもこの方々は単なる風邪であった可能性があり、すぐに解熱し、風邪症状が治まった後現場に復帰していただいています。

【感染症にかからない】

手洗いの徹底	頻度を上げ、最低 1 回 20 秒以上の石鹸、流水による消毒手洗いを行いましょう。指先、指と指の間、親指、手首など入念に洗う 手に付着した菌を、目や鼻の粘膜に入れないために、手洗い前に手で顔を触れない
うがいの徹底	のど元に付着した菌を洗い流します。また口腔内を常に湿らせておくため抗菌作用として塩、酢、レモンなどを少し入れるとよいといわれます。 またイソジンなどのうがい薬は良い菌も殺菌しますので、多用することは避けた方がよいとされています。菌は肺に入る前に 3~4 日、喉でとどまり増加しているようです。うがいはかなり効果的です。
水分補給	ぬるま湯から熱めのお茶や白湯を飲む。喉元にたまった菌が肺に入る前にお湯で中和しながら胃へ流し込み胃液で殺菌してしまう効果があるようです。
マスクの着用	セキやくしゃみで飛沫の拡散を防止する為、セキエチケットを遵守してください。せきが出る場合は必ずマスクを着用してください。またタオルなどで口元を覆うこともお願いします。 現在、マスクが品薄で入手不可能です。ハンカチやガーゼによる手作りマスクでも結構です。協力をお願いします。

【私生活において】

自己免疫力向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 十分な睡眠をとること。普段よりも 1 時間早く就寝するだけでもかなりの違いがあります。 ● 栄養バランスの取れた食事をする。1 食あたり 5 色以上の食材をとるとよいといわれます。(白) ごはん、(赤) トマト・ニンジン、(黄) 卵、(茶) 肉・味噌、(緑) 野菜、(黒) 胡麻・のり ● 特に果物、野菜類のビタミン C 郡、肉類などは亜鉛郡を多く含むのが良いとされています。
3 密を避ける	<ul style="list-style-type: none"> ● 換気の悪い密閉空間は避ける ● 多数が集まる密集空間は避ける ● 間近で会話や発声する密接空間は避ける <p>休憩時間中なども、出来る限り人と離れて座るなどの工夫をお願いします。</p>

新型コロナウイルスの感染経路は、飛沫感染と接触感染の 2 つです。話すときは近づかずまたドアノブ等手の触れる範囲を触った後は、必ず手洗いをを行うことを忘れないでください。そして私生活では疲れをためない、不要不急の外出は控える。一人でも感染者を出さないために、各自で厳重なる注意をお願いします。 (本社 田中克人)

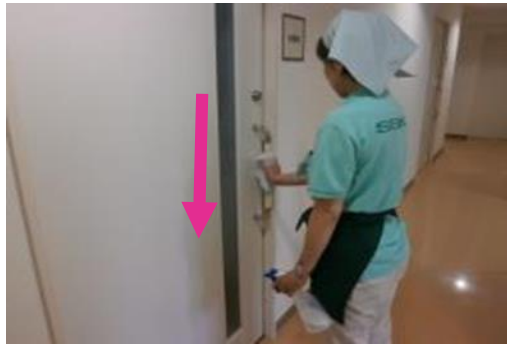


研修のコーナー① 拭き掃除

日頃、皆さんには常に行っている拭き掃除。今回感染症対策のこともありますので、改めて拭き掃除の方法を再認識していただきます。

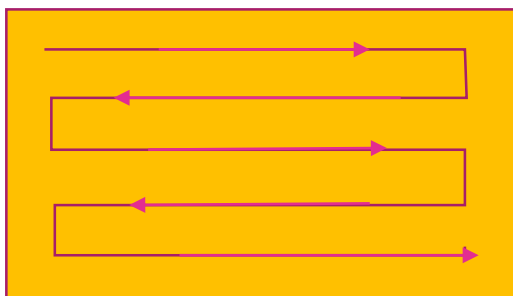
清掃の原則 拭き掃除は 1 方向に拭く！＝消毒拭き

行ったり来たりしての拭きかたでは、汚れや雑菌をあちらこちらにばらまいているだけです。効率よく汚れや雑菌を取るためには、必ず方向を決めて一方向に拭き取ることをお願いします。こうすることによって乾拭きだけでも表面にあった菌は一方向にまとめられ、きれい消毒（除菌）できます。



- 必ず自分で方向を決めて一方通行で作業を行う。
- 適時、アルカリ水や消毒剤をクロスに補充する
- 適時、クロス折り返して、きれいな面で拭く

※ひどく汚れが付着している場合は、ごしごしとクロスで汚れを拭き取ってから、新しい面で一方向に拭き掃除を進めてください。



テーブルなど広い面を拭くときは左図のようにカク、カク、カクと一方向に拭きます。特に、テーブルの裏面（右上図）部分も拭き取れることが重要です。

私たちの清掃で感染拡大防止に貢献しましょう。



研修のコーナー② 用具の色分け

ほとんどの現場でトイレ清掃が作業工程に組み込まれていると思います。

トイレは病院・施設の顔といってもいい位、常に綺麗で清潔な状態を維持しないといけない場所です。皆さんも出掛けの際に、駅のトイレや商業施設のトイレが汚かったら、嫌な気分になり、また来ようという気持ちにはならないと思います。私達の作業で、マイナスイメージを持たれないように、お客様の施設や企業のイメージアップに繋がるようにしっかりと日々清掃する事が必要になってきます。トイレ清掃は綺麗にするだけでなく、正しいタオルの色分け・洗剤の使い方・清掃手順を守って汚染を広げないという事も大事になってきます。

今回は特に間違いの多い、便器清掃時の色分けについておさらいします。



汚物が直接触れるところ（不潔場所）は赤タオル（スポンジ）

人の手が触れるところ（清潔箇所）は青タオル（スポンジ）

便座上やフタに汚物が付着している場合は、まず赤タオルで（汚れが酷い場合はスポンジでこすってから）汚物を除去してから、青タオルで消毒拭きを行って下さい。また便座は乾拭きしてしまうと傷がつく恐れがあるので、タオル全体がよく濡れるようにスプレーで液をかけて下さい。タオル使用面が汚れたら、清掃箇所が変わるタイミングで新たな面に替えて作業して下さい。

特に拭き忘れが多い所として、手すりと壁の接合部分やスイッチ上部が挙げられます。手すりやナースコールのスイッチはトイレ使用時に目に入りやすい場所にあります。埃がたまって不衛生な状態だと不快感を覚えます。しっかりと拭き上げて綺麗なトイレを維持出来るよう日々の作業を頑張りましょう。

（淀井病院 杉本）

注意！重大労災事故が発生しました。

先日、鶴見区民センター内において、新人パートさんが洗面台清掃中に転倒し、後頭部頭蓋骨骨折、外傷性クモ膜下血種という生命にかかわるような重大な事故が発生しました。事故発生当時は一人で作業を行っていましたので、なぜ転倒したのか推測でしか原因はわかりませんが、状況からみると洗面台前にある鏡の上部を拭こうとして、洗面台の上に乗って足を滑らせて転倒したとしか考えようがありません。入社時のサービスマニュアル、作業研修時にも高所の作業は厳禁、手の届く範囲で作業を行うことなどはしっかり説明をしたにも関わらず、きれいにしたい気持ちからこれぐらいなら大丈夫という、安易な気持ちで乗ってしまったのであろうと思います。

絶対にもものに乗って作業を行わないでください。危険な作業は厳禁です。



「笑顔+挨拶の言葉」

笑顔で挨拶するためのたった1つのコツ。「こんにちは」「おつかれさまです」など、挨拶の言葉はたくさんあります。

これらの言葉が笑顔でできると、挨拶をしてもらったほうは、とっても気持ちがいいですね。

「笑顔+挨拶の言葉」

これを実践し続けるためのコツがあります。それは、「まずは笑顔になってから、次に言葉を発する」

たとえば、「おはようございます」や「こんにちは」は「お」という母音から始まります。「お」を母音にする言葉を発するときの「口」の形はどうなっていますか？口をすぼめるような小さな口で発しますよね。その時の表情はいかがですか？

そうなのです。残念ですが笑顔ではありません。それは、口角が横に開いたり、あがったりしてはいないからなのです。つまり、

「お」から始まる言葉は、無意識では笑顔にならない、ということです。そのために **まずは笑顔になってから、それから言葉を発する** ということを習慣にしましょう。せっかく笑顔が大切!とわかっていても、無意識では実践することはできないということです。意識して実践し、習慣にしまいましょう。まずは、笑顔！そしてその次に言葉を発する。

ニツと笑ってから挨拶！です。

(森之宮病院 古田)

パートさん全員の協力で成し遂げました

欠員がある中で、応援や交代出勤などにもいつも協力してくださり、ありがとうございます。

そのような状況の中にも関わらず、東香里第二病院では昨年に大幅なコースの組換えを行いました。これまで病院から清掃の仕上がりにはご満足いただいております、アンケートでもありがたいことに上位の評価をいただいております。

しかし、病院のスタッフさんから指摘はされていみせんでしたが、日常清掃の範囲に入っていないところで、汚れが気になる点がいくつもあり、手が届かないことが気になっていました。そこで

★作業方法の統一と仕上がり品質の向上と均一化

★どのコースも業務時間を無理なく無駄なく有効に使う

★普段、手が届かないところの週間作業への組み込み

を目的としてコースの組換えに着手しました。毎日、清掃しているパートさんに、それぞれの場所で清掃に掛かっている実際の時間や、施設スタッフさんの都合で清掃に入れる時間帯に限りがあるなどの実態を教えていただきながら、新コースを作成しました。昨年の11月21日から新コースをスタートさせました。初めは不慣れから予定時間で終わられず、毎日残業してくださりました。また、当時まだ作業を覚えている途中の新人さんもいっしょに、本当に大変だったと思います。何度かのコース修正と、新コースへの慣れで時間内に終わられるようになりました。

皆様の協力のおかげで、これまで手が入らず気になっていたところも定期的に清掃できるようになり、以前よりも綺麗な状態を保てるようになりました。この実現に最も大切なのは現場パートさん一人ひとりの協力だと思います。大変な中、本当にありがとうございました。

(東香里第二病院 川原)

第38期 4月度 勤続感謝賞

10年目 木谷さん

多年にわたりご協力いただき感謝申し上げます。これからもよろしくお願い致します。
代表取締役 田中克人 お客様サービス部 一同